

全仏

ZENBUTSU



474

仏暦2544年12月 (2001年)
財団法人 全日本仏教会
JAPAN BUDDHIST FEDERATION



大谷暢顯会長を導師に営まれた、第三十八回全日本仏教徒会議での記念法要
(関連記事4頁)

**理事会開催
法律相談室**

理事会開催

本会理事会が、去る十一月一日午後二時から、東京グランドホテルで開催された。三婦依文唱和に続いて、石上智康理事長を議長に大竹明彦・加納博司の両師を議事録署名人に出し議事に入った。

議案第一号「平成十四年度予算編成の基本方針について承認を求める件」

石上議長より上程。倉澤財務部長が（負担金は据置、事務所設備修繕費の新設等）説明、原案通り承認された。

報告事項一「ルンビニー園マヤ堂修復事業状況報告」

青地敬水ルンビニー委員会委員長より、ネパール国とのマヤ堂修復・設計の折衝状況を中心に現況の報告がなされた。

続いて櫻井国際文化部長より、マヤ堂遺跡考古学調査報告書遺構編英文版仮本を配布し概要説明を行うと共に、この事業の当初から現在に至るまでの経過と収支明細等について資料をもとに詳細に説明され、事業継続のための資金調達問題についても説明された。

報告事項二「戒名・法名リーフレット『戒名・法名について』発行について」

吉橋総務部長より、昨年から戒名・法名リーフレット作成委員会で検討してきた同小冊子が十月に完成し、見本を加盟団体に配布し頒布を開始したことが報告された。

報告事項三「第二次世界大戦犠牲者霊骨還国奉安」協力依頼の件」

韓国の仏教会を介して、現在東京中目黒の祐天寺でお預かりしている千三百余体の遺骨の返還の要請がされていることについて、日韓仏教交流協議会の船岡芳昭事務局長より状況説明がされた。

事務総局各部報告

①西村事務総長より、日本テレビの「歓迎ダンジキ御一行様」の番組内容が仏教に対して不適な点が多々あり、善処するよう要請書を提出したことが報告された。

②倉澤財務部長より、十一月十二日に開催される日本宗教連盟主催の第十八回「宗教と税制シンポジウム」の概要説明がなされ、多数の参加を要請された。

③小島同和推進部長より、十一月十五日に大阪市の社団法人部落解放・人権研究所で開催される「第十三回加盟団体代表者同和研修

会」について説明された。

④渡邊社会部長より「第三十八回全日本仏教徒会議新潟大会」が加盟団体の協力により十月十日、十一日両日に渡り長岡市において盛況の内に開催されたことが報告された。

戒名・法名リーフレット完成

戒名・法名リーフレット作成委員会が作成を進めていたリーフレット「戒名・法名について」がこの度完成しました。

一部百円で、頒布希望の方はFAXまたは、ハガキで、①氏名、②一般とご寺院（ご宗派・ご寺院名）の別、③希望部数、④住所・〒番号、⑤連絡先電話番号を明記してお申し込み下さい。

（送料・梱包料は別途申し受けます。同封の振込み用紙で本会宛振り込み下さい）

申込先 全日本仏教会・総務部

〒一〇五-〇〇〇一

東京都港区芝公園四一七-四

電話 〇三-三四三七-九二七五

FAX 〇三-三四三七-三二六〇



法律相談室 回答・長谷川正浩本会顧問弁護士

息子の名義で家を建てたい借地人

(質問) 借地人がつぎのように申し出てきました。即ち、今般借地上に新たに建物を新築したいと思うけれども、自分は年金生活者で収入も少ないのでローンを組むことができない。そこで同居している息子がローンを組むことになったが、そうすると建物は息子名義にしなければならぬといわれた。そこで息子名義に契約書を書き替えてもらえないだろうかというわけです。どのようにしたらよいでしょうか。

(答) 借地人名義を現在の借地人の息子さんに変えるということ、借地権を譲渡することになります。借地権の譲渡に伴う譲渡承諾料は、借地権価格の約一割が相場です。

しかし、お尋ねの場合、借地人は借地権を譲渡する確定的な意図があるわけではなく、ローンを組むにあたって金融機関等から指摘されたので契約書の名義だけを便宜上変更してほしいと希望しているだけのように思われます。これがまず第一の論点です。

第二は、借地権の譲渡に伴って対価の支払いがあれば、原則として売買契約が借地人とその息子さんとの間で締結されることとなります。しかしお尋ねの場合、

息子さんは親である借地人に土地代金を支払う意図はあるのでしょうか。一般にはないとおわれます。対価の支払いがなければ、借地人がその息子さんに借地権を贈与したということになります。

借地権は更地価格の六割とか七割とか云われており、現在ではその財産価値は少なくありません。ですから、借地権についても相続税の対象になり、更地と同じように路線価に従って所定の計算をして相続税を払わなければなりません。これを贈与すれば贈与税の対象となります。贈与税は相続税の補完税ですが、相続税と異なつてその税率は非常に高くなつています。条件にもよりますが借地権価格の三分の一近くなる場合もあり得ます。

もっとも父母等から住宅取得資金の贈与をうけたときは、贈与税が軽減されることになっていきます。それでも一千万円の贈与で七十万円の贈与税、一千二百万円の贈与で百一十萬円の贈与税です。そこでお尋ねの場合、私だったら次のように対応したいと思えます。

まず第一に、借地人が本当に息子さんに借地権を譲渡する意志なのかどうかを確認します。売買なのか、贈与なのかをきいてみます。売買なら息子さんは代金

を支払わねばならないし、借地人は譲渡所得税を支払わなければなりません。贈与ならば息子さんは多額の贈与税を覚悟しなければなりません。

こう話すと、借地人はびっくりすることでしょう。そして何か良い方法はないものかときいてきます。そこで地主としては、「借地権の使用貸借に関する確認書」(左参照)を地主・借地人・建物所有者三名の、連名で税務署へ提出することを提案します。

この確認書を提出しておきますと贈与税がかからないこととなります。この確認書は、借地人がその息子に無償で「また貸し」することを地主が承認するというもので、借地権の「また貸し」があつ

ても、借地権の価値や法律関係に変更がないことを税務署に確認してもらう為のものです。

これを地主・借地人・建物所有者(息子さん)の三名で連署して税務署に出しておきますと、借地人の相続人(その息子さんも含まれます)は「転貸している借地権」ではなく、「通常の借地権」として相続税の対象としなければなりません。しかし贈与税を払うよりはうんと安くなると思います。

右のことを話してから、地主としては新築の承諾料について協議することになります。節税に地主が協力すれば新築承諾料の協議もうまくいくことでしょう。

借地権の使用貸借に関する確認書

	(借地権者)		(借受者)
①		殿は、	殿
	に対し、平成 年 月 日にその借地している下記所在の土地に建物を建築させることになったが、その土地の使用(借地権者)の上(借地権者)に建築されている建物を贈与(譲渡)したが、その土地の使用関係は使用貸借に基づくものであつて、殿の借地権者としての従前の地位には何ら変更を来すものでない。		
	記		
	土地の所在 _____		
	地 積 _____		
②	上記①の事実と相違なく、従つて、今後相続税等の課税に当っては、建物の所有者はこの土地について何らの権利を有せず、借地権者が借地権を有するものとして取り扱われることを確認した。 平成 年 月 日 借地権者(住所) _____ (氏名) ③ 電話(_____) 建物の所有者(住所) _____ (氏名) ④ 電話(_____)		
③	上記①の事実と相違ありません。 平成 年 月 日 土地の所有者(住所) _____ (氏名) ⑤ 電話(_____)		
	上記の事実を確認した。 平成 年 月 日 (確認者) _____ 税務署 部門 担当者 ⑥		

第三十八回全日本仏教徒会議

十月十日・十一日 於 新潟県長岡市



石上智康本会理事長から中村啓識大会会長へ
大会旗が引き継がれた。

大会スローガン

わたしのいのち、あなたのいのち
尊いのち

My Life, Your Life,
Precious Life

第三十八回全日本仏教徒会議・新潟大会が平成十三年十月十日(水)、十一日(木)の両日、「わたしのいのち あなたのいのち 尊いのち My Life, Your Life, Precious Life」を大会スローガンとして新潟県長岡市で開催された。十日は、長岡グランドホテルで、三つの分科会が開催された。

第一分科会「いのち」では、真言宗豊山派僧侶で医師の田中雅博師が、実践的立場から生命倫理と仏教の問題を講演。第二分科会「教育」では、文部科学省教科調査官の押谷由夫氏が、「自己の生命を見つめ、感謝する心と大志をはぐくむ子どもを育てよう」をテーマに講演。現代における道德教育の重要性を強調した。

第三分科会「環境」では、真宗大谷派僧侶で医師の北澤幹男師が、開業医の立場から環境問題を人の心と関連させて講演した。各分科会とも多くの参加者からテーマについて活発な意見が出され、大会テーマの「いのち」について様々な角度から考察が深められた。終了後、同所で懇親会が開催され、内外からの来賓が挨拶を行い盛会であった。

十一日は、午前中長岡市内の視察・観光が行われ、一部の参加者は長岡西病院にあるビハラー病棟を見学し、ビハラー僧の谷山洋三師らから運営状況などの説明を受け、仏堂や

式典で挨拶する大谷暢顯会長



談話室などを見学した。

午後一時から、長岡市立劇場で記念式典が開会。石上智康本会理事長から、中村啓識大会会長（新潟県仏教会会長・本会副会長）へ大会旗が渡され、続いて大谷暢顯本会会長を



記念講演する豊原大成師

表 白 文

本日ここに第三十八回全日本仏教徒会議新潟大会を開催するに当たり、慎んで表白を申しあげます。

私たちの全日本仏教会は、昭和二十九年諸先輩の努力によって誕生いたしました。

それ以来今日まで、日本仏教徒が宗派や地域の垣根を超えて和合し、お互いの交流と理解を深め、み仏の慈悲の心を人々に伝える努力をいたして参りました。しかし世界はますます混沌と争いを続け、その止まることを知らない状態です。私たち仏教徒は本大会を期して、さらにみほとけのもとみんなで手をつなぎ「心の平和」「世界の平和」「いのちの尊さ」を人々に伝え、闇を照らす光となることを、仏陀の前にお誓いいたします。

平成十三年十月十一日

全日本仏教会会長

第三十八回全日本仏教徒会議

新潟大会総裁

大 谷 暢 顯

花まつり新ポスター

本会が毎年頒布しております、花まつりのポスターのデザインを一新しました。価格は従来通り、一枚百円で、送料は実費ご負担下さい（着払）。お申し込みは五枚以上で、本会事務総局までFAX（〇三―三三三―三三三三六〇）あるいはハガキでお願いします。



(たて594mm×よこ420mm)

本会リーフレット

本会を紹介するリーフレット（和英併記）ご希望の方は本会事務総局（電話〇三―三三三―三七―九二七五）までご連絡ください。



式典で披露された「悠久太鼓」



導師に、記念法要が荘重に勤められた。法要の最後に導師より「心の平和」「世界の平和」「いのちの尊さ」を人々に伝えることを仏陀に誓う表白文が読み上げられた。

続いて、大会テーマ「いのち」を音楽と映像により表現する朗読「葉っぱのフレディ」、地元の悠久太鼓による「響けいのちの大地」が上演され、参加者に大きな感動を与えてい

た。

次に、大会総裁の大谷暢顯本会会長の挨拶、石上智康本会理事長による宣言（日本仏教者からの平和への願い：本誌前号で紹介）、中村啓識大会会長の挨拶、平山征夫新潟県知事（代読）、森民夫長岡市長の来賓祝辞と続いた。また内外からの多くの来賓が、満場の拍手のもと紹介された。



十日に行われた分科会於 長岡グランドホテル

分科会で熱心に質問する参加者



次に堀井博長岡市檀信徒会会長が、み仏の慈悲の心をひろめ人類の幸せと世界平和に努力することを趣旨とする決意宣言を読み上げた。

休憩をはさみ、豊原大成師（浄土真宗本願寺派宗会議員、全日本仏教会元常務理事）が「いのちの灯」をテーマに記念講演を行った。師は、「いのちを良く生きること」その大切さを、自身の様々な体験の中から、身近な例を挙げてわかりやすく講演し、聴衆は熱心に



長岡仏教ビハーラを視察する大会参加者
右はビハーラ僧、谷山洋三師



懇親会で挨拶する中村啓識大会会長

耳を傾けていた。
最後に大会実行委員長の春日浩三師（長岡市仏教会会長）が閉会の辞を述べ、二日間に亘る大会は幕を閉じた。
また、大会の一環として、十月九日（火）～十一日（木）長岡市厚生会館小ホールで名僧墨蹟展が開催され、加盟団体より広く寄せられた揮毫に来場者は見入っていた。
また、十月十日（水）～十四日（日）長岡商工会議所美術ホールで、本大会記念「良寛さんと信仰の書」展が開催され盛況であった。



長岡市厚生会館で開催された「現代名僧墨蹟展」

法律相談室

長谷川正浩弁護士による無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務局（〇三―三四三七―九二七五）へ事前予約の上おいで下さい。

ドラマ「歓迎！ダンジキ御一行様」に

抗議の意見書

日本テレビ系列で、土曜日午後九時から放映されているドラマ『歓迎！ダンジキ御一行様』が、宗教を題材にする際の配慮に著しく欠ける内容のため、十月二十四日、本会西村輝成事務総長名で日本テレビ宛、意見書を送付し、抗議を行った。

ネパール・トリバン大学教授と懇談

十一月七日午後、東京プリンスホテルで、国際交流基金の招きで来日していたネパール・トリバン大学教授、Mukunda Raj Aryal 氏と、本会の西村事務総長、櫻井国際文化部長、入西国際文化部次長が、マヤ堂修復事業の現状について懇談を行った。

(社)全日本仏教婦人連盟が マヤ堂修復事業へ浄財寄託

十一月十四日、(社)全日本仏教婦人連盟の島田喜久理事長が本会事務局を来訪。本会が進めているルンビニー園マヤ堂修復事業のため、金百万円の浄財を寄託された。



(社)全日本仏教婦人連盟島田喜久理事長から、マヤ堂修復事業への浄財寄託を受ける、本会西村輝成事務総長

同和委員会

十一月二日、午後一時半から、真言宗智山派事務局で、第五回同和委員会が開催された。
第十一回同和推進担当者連絡会について協議され、十二月十一日・十二日の両日、熊本の菊池恵楓園で「ハンセン病と差別」をテーマに開催することが決められた。

仏教婦人連盟大会

十月二十六日午前十一時から、帝国ホテルで、第四十八回全日本仏教婦人連盟大会が開催された。

第一部は、同連盟名誉会長・大本山善光寺大本願法主、鷹司誓玉台下を大導師に、全日本仏教尼僧法団有志を式衆に迎え、追悼法要が厳修された。次に鷹司台下による御垂示、同連盟名誉顧問・道明寺山主、六條照瑞上人による信条唱和、二條恭仁子同連盟会長による挨拶が行われた。

第二部では、島田喜久理事長の挨拶に続いて、来賓として本会の西村輝成事務総長が挨拶した。乾杯の後の清興では中国民族楽器の二胡、琵琶、舞の演奏が行われ、郷愁に満ちた音色に、多くの参加者は魅了されていた。

事務局録事

十一月

- 一日 理事会
- 二日 同和委員会
- 宗教学人実務研修会出席
- 七日 トリブバン大学教授と懇談
- 八日 法律相談室
- 局内会議
- 九日 印度山日本寺晋山式出席
- 十二日 日宗連税制シンポジウム
- 十四日 日宗連理事会
- 大阪府佛教徒大会出席
- 十五日 加盟団体代表者同和研修会
- 二十一日 ルンビニー委員会
- 二十二日 法律相談室
- 二十七日 浄土宗差別戒名物故者法要参列
- 三十日 局内会議

哀悼

江連俊則師(本会常務理事・元副会長)
十一月十七日遷化 七十六歳
(財)埼玉県佛教会会長

お願い

本誌発送先変更の場合、事務局迄、ご一報をお願いします。